

富山大学附属病院のキャリア形成プログラム（例）

【注意事項】各診療科共通

- ・ 県外施設での診療や研修期間は義務年限にカウントされません。
- ・ 大学院に入学の場合、診療従事の状態により義務年限にカウントするかどうかを決定します。

		県内就労義務期間																													
							小児科専門医取得																								
卒後年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～																		
研修	初期研修	① 小児科専攻医研修					② 将来の目標に向かった臨床研修や研究を総合的に行う																								
		<p>到達目標：子どもの総合医として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライマリケア、救急診療 ・地域医療、小児保健 <p>に対応できるスキルを身につける</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な研修 ・サブスペシャリティ研修 							大学病院 中核病院 スタッフへ																	
		<p>富山大学附属病院プログラム（主なコース）</p> <table border="1"> <tr> <td>富山大学附属病院</td> <td>関連病院A</td> <td colspan="2">関連病院B</td> </tr> <tr> <td>関連病院A</td> <td>富山大学附属病院</td> <td colspan="2">関連病院B</td> </tr> <tr> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> <td colspan="2">富山大学附属病院</td> </tr> <tr> <td>富山大学附属病院</td> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> <td>連携病院</td> </tr> </table>					富山大学附属病院	関連病院A	関連病院B		関連病院A	富山大学附属病院	関連病院B		関連病院A	関連病院B	富山大学附属病院		富山大学附属病院	関連病院A	関連病院B	連携病院	<p>小児科専門医</p> <p>アレルギー専門医（小児科） 小児血液・がん専門医 小児循環器専門医 小児神経専門医 周産期専門医（小児科）など</p> <p>（それぞれ3～5年間）</p>							各分野専門医	様々なキャリア形成が可能
富山大学附属病院	関連病院A	関連病院B																													
関連病院A	富山大学附属病院	関連病院B																													
関連病院A	関連病院B	富山大学附属病院																													
富山大学附属病院	関連病院A	関連病院B	連携病院																												
		<p>③ 研究（大学院：4年間） 原則2年間は病棟フリー</p>					<p>医学博士取得</p>							海外留学																	

① 3～5年目：富山大学附属病院の小児科専攻医研修医プログラムに入り、県内外の病院群で研修

② 6～9年目：富山大学附属病院や関連施設でサブスペシャリティの研修ならびに取得が可能

③ 大学院に入学して博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には重要）

関連病院（A）：富山県立中央病院、厚生連高岡病院

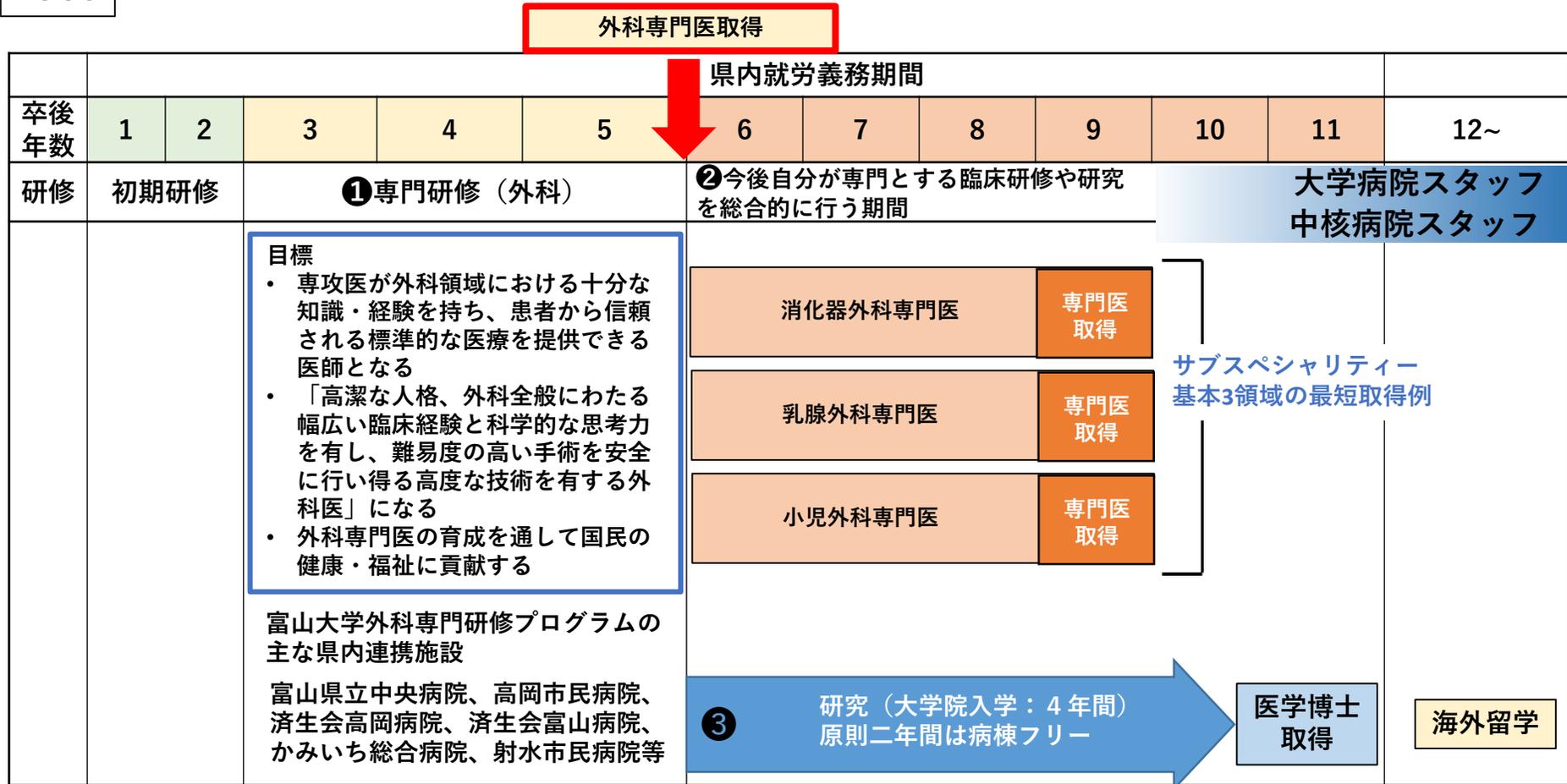
関連病院（B）：富山市民病院、黒部市民病院、糸魚川総合病院など

連携病院：富山県リハビリテーション病院など（希望により）

< 返還免除時期の延長 >

研究が主体の期間、県外や国外での研修期間、など

2 外科 キャリア形成プログラム（富山大学）



①3～5年目は富山大学附属病院の外科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

連携施設は富山県立中央病院、高岡市民病院、あさひ総合病院、かみいち総合病院、射水市民病院、済生会富山病院、済生会高岡病院、まちなか病院。連携施設で最低6カ月以上の研修を行う。

②6～9年目までの期間は、富山大学や関連施設でサブスペシャリティー専門研修

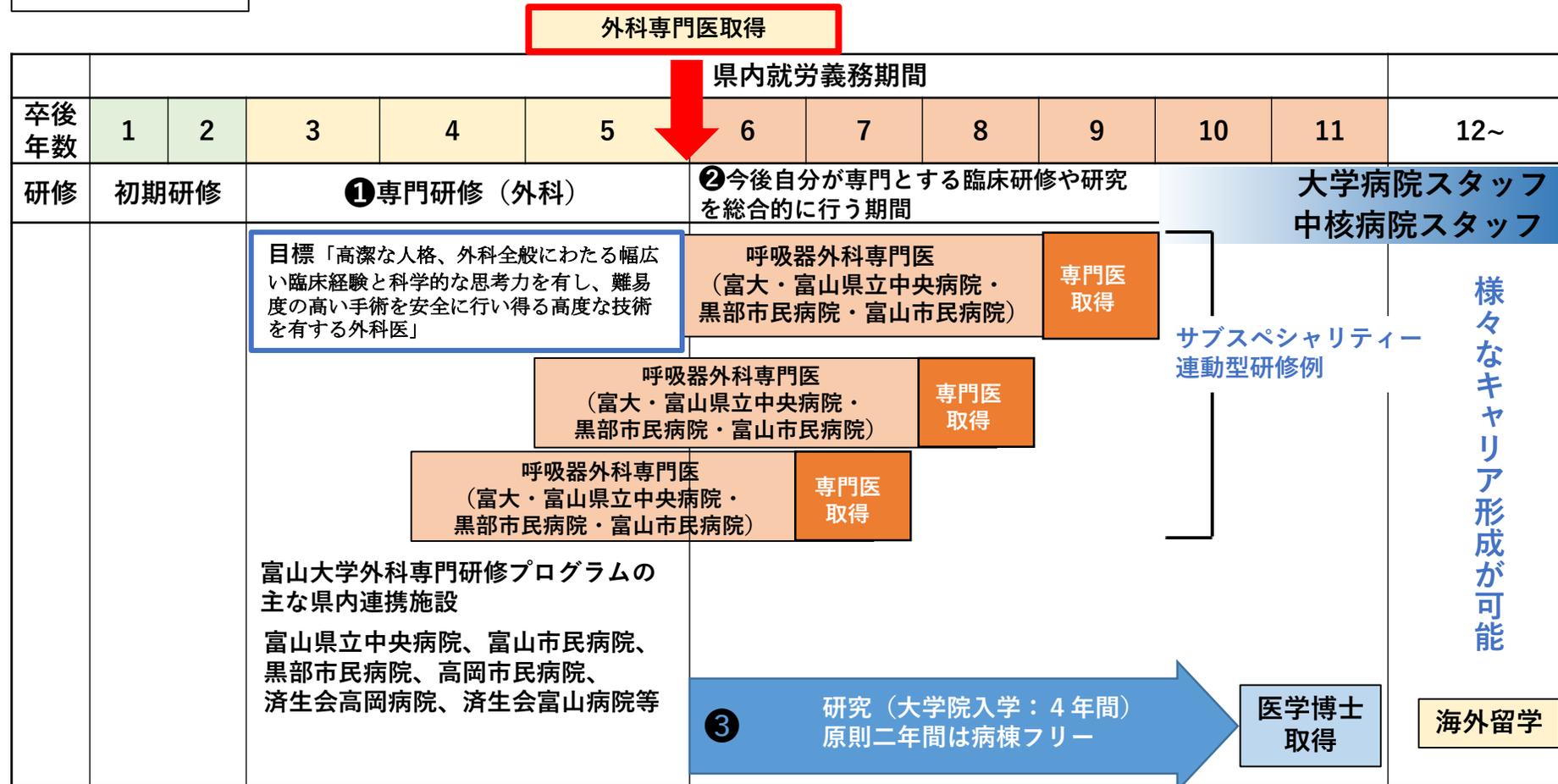
消化器外科専門医、乳腺外科専門医、小児外科専門医の取得が可能。内視鏡外科技術認定医、肝胆膵高度技能専門医、食道外科専門医等の高度なキャリア形成を目指した研修も可能。

③大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

（県外施設での期間は返還免除時期が延期）

2 - (1) 呼吸器外科 キャリア形成プログラム (富山大学)



① 3～5年目は富山大学附属病院の外科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

富山大学附属病院、富山県立中央病院、黒部市民病院、富山市民病院

② 6～9年目までの期間は、富山大学や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、呼吸器外科専門医の取得が可能。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能 (医師のキャリア形成には研究も重要)

- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

産科婦人科専門医取得

		県内就労義務期間																																											
卒後年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~																																
研修	初期研修	① 専門研修（産婦人科）					② 今後自分が専門とする臨床研修や研究を総合的に行う期間					大学病院スタッフ 中核病院スタッフ																																	
		<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠分娩管理、新生児管理 良悪性腫瘍の診療 生殖医療 ができるようになる <p>主な研修コース（富山大学）</p> <p>富山大学専攻医研修プログラム</p> <table border="1"> <tr> <td>富山大学</td> <td>黒部市民病院</td> <td>高岡市民病院</td> <td>富山市民病院</td> </tr> <tr> <td>富山大学</td> <td>厚生連高岡</td> <td>糸魚川総合病院</td> <td>高岡市民病院</td> </tr> <tr> <td>富山大学</td> <td>高岡市民病院</td> <td>厚生連高岡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>富山大学</td> <td>砺波総合病院</td> <td>黒部市民病院</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高岡市民病院</td> <td>富山大学</td> <td>砺波総合病院</td> <td>糸魚川総合病院</td> </tr> <tr> <td>厚生連高岡</td> <td>富山大学</td> <td>富山市民病院</td> <td>砺波総合病院</td> </tr> <tr> <td>黒部市民病院</td> <td>富山大学</td> <td>県立中央病院</td> <td></td> </tr> <tr> <td>富山大学</td> <td>県立中央病院</td> <td>富山市民病院</td> <td>糸魚川総合病院</td> </tr> </table>					富山大学	黒部市民病院	高岡市民病院	富山市民病院	富山大学	厚生連高岡	糸魚川総合病院	高岡市民病院	富山大学	高岡市民病院	厚生連高岡		富山大学	砺波総合病院	黒部市民病院		高岡市民病院	富山大学	砺波総合病院	糸魚川総合病院	厚生連高岡	富山大学	富山市民病院	砺波総合病院	黒部市民病院	富山大学	県立中央病院		富山大学	県立中央病院	富山市民病院	糸魚川総合病院	<p>周産期専門医（富大・黒部市民・厚生連高岡）</p> <p>専門医取得</p> <p>婦人科腫瘍専門医（富大）</p> <p>専門医取得</p> <p>女性医学専門医（富大）</p> <p>専門医取得</p> <p>生殖医療専門医（富大）</p> <p>専門医取得</p> <p>内視鏡技術認定医（富大・高岡市民）</p> <p>認定医取得</p>					<p>サブスペシャリティー 基本4領域の最短取得例</p> <p>様々なキャリア形成が可能</p>	
富山大学	黒部市民病院	高岡市民病院	富山市民病院																																										
富山大学	厚生連高岡	糸魚川総合病院	高岡市民病院																																										
富山大学	高岡市民病院	厚生連高岡																																											
富山大学	砺波総合病院	黒部市民病院																																											
高岡市民病院	富山大学	砺波総合病院	糸魚川総合病院																																										
厚生連高岡	富山大学	富山市民病院	砺波総合病院																																										
黒部市民病院	富山大学	県立中央病院																																											
富山大学	県立中央病院	富山市民病院	糸魚川総合病院																																										
	あいARTクリニック、女性クリニック We富山、あわの産婦人科医院と連携						<p>③ 研究（大学院入学：4年間） 原則二年間は病棟フリー</p>					医学博士取得	海外留学																																

① 3～5年目は富山大学附属病院の産婦人科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

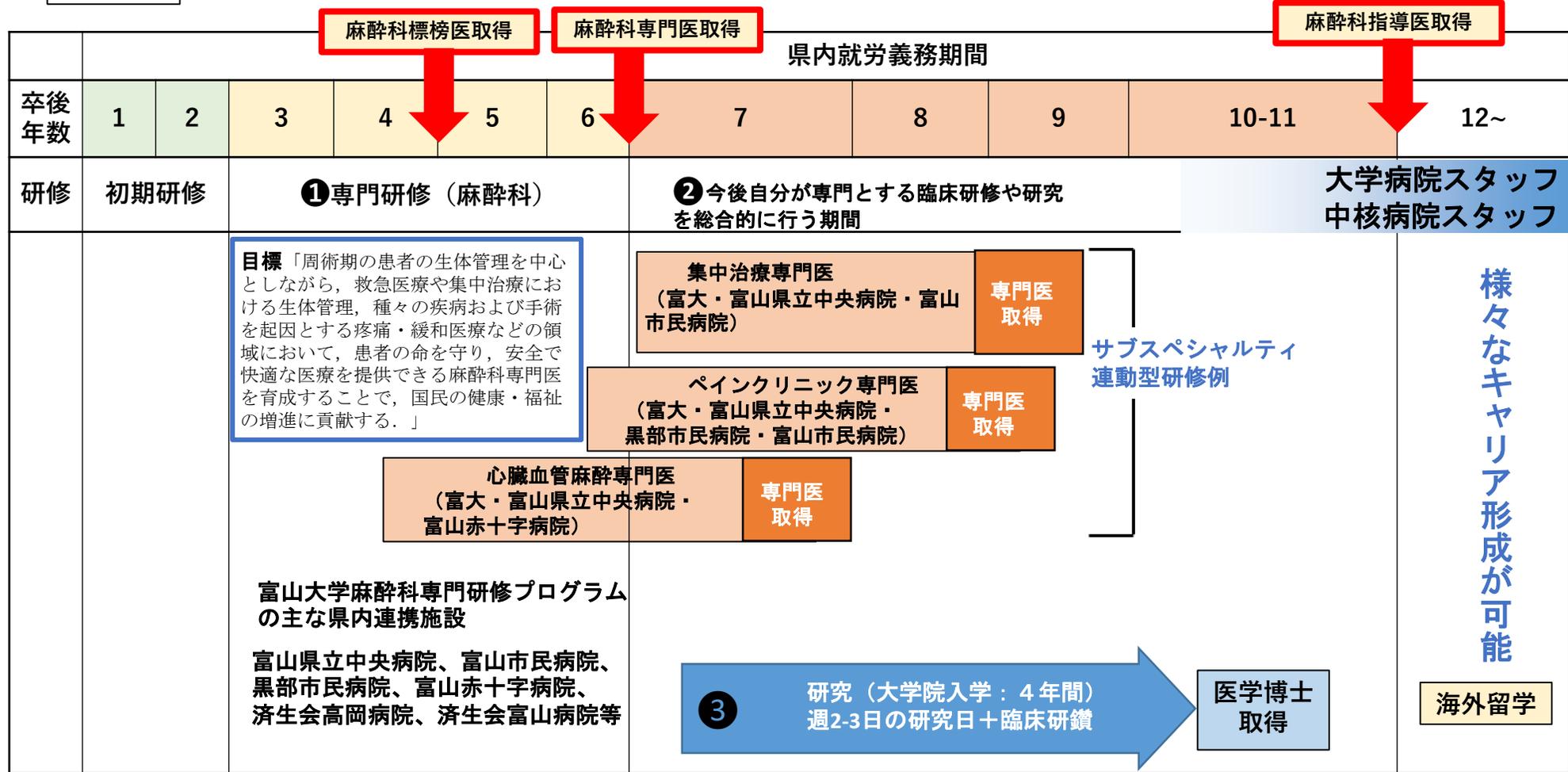
富山大学附属病院、富山県立中央病院、黒部市民病院、富山市民病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院

② 6～9年目までの期間は、富山大学や関連施設でサブスペシャリティー専門研修をして、周産期専門医、婦人科腫瘍専門医、内視鏡技術認定医、女性医学専門医、生殖医療専門医の取得が可能。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

- ・大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

4 麻酔科 キャリア形成プログラム (富山大学)



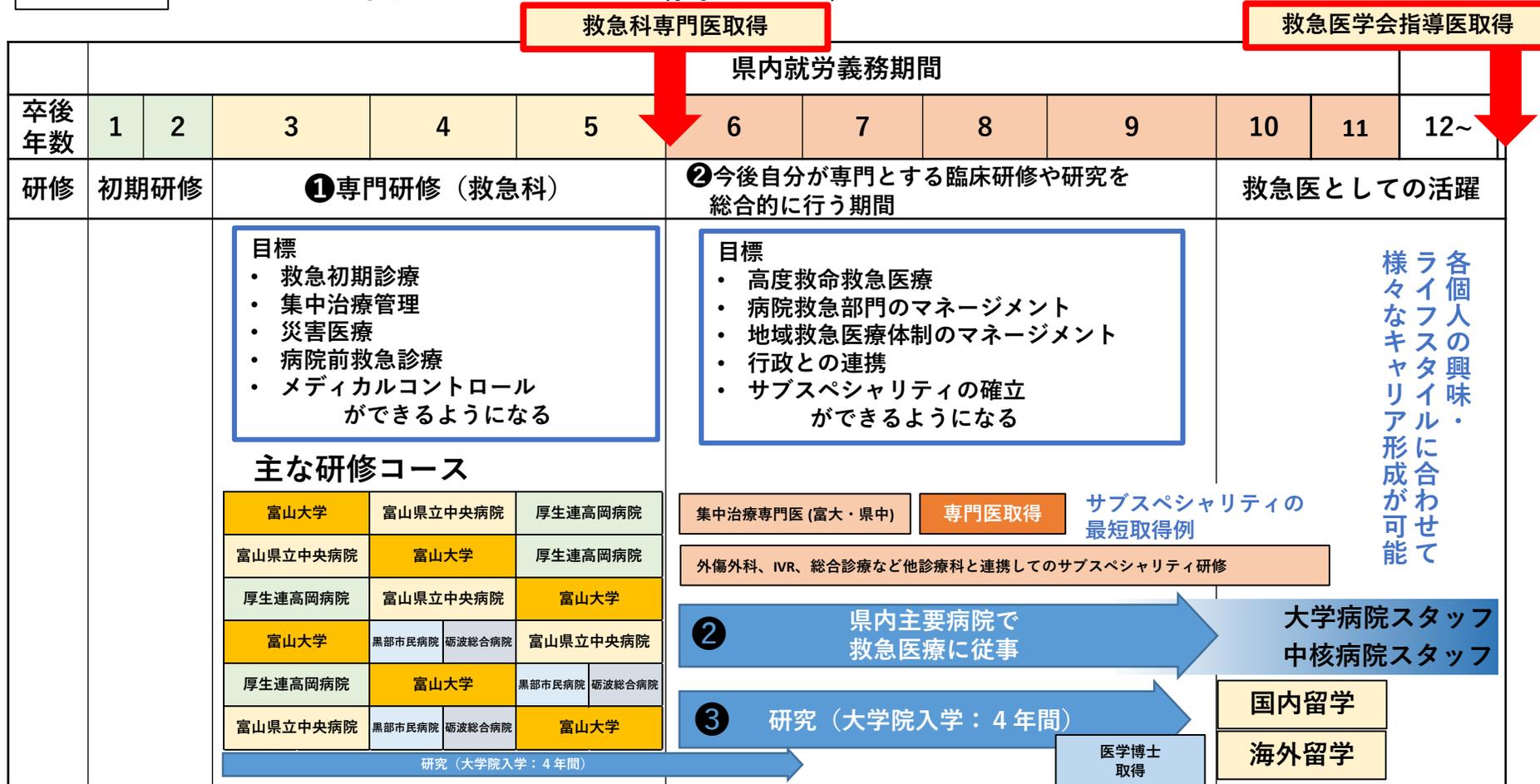
① 3～6年目は富山大学附属病院の麻酔科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

富山大学附属病院、富山県立中央病院、黒部市民病院、富山市民病院、富山赤十字病院

② 7～10年目までの期間は、富山大学や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、麻酔科指導医の取得が可能。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能 (医師のキャリア形成には研究も重要)

- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。



① 3～5年目は富山県連携救急科専門医養成プログラムに入り、県内の病院群で研修

富山大学附属病院、富山県立中央病院、厚生連高岡病院、黒部市民病院、市立砺波総合病院

② 6～9年目までの期間は、富山大学や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、集中治療専門医の取得が可能。希望により県内・外の施設で他領域の研修も可能だが、その期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能 (医師のキャリア形成には研究も重要)

- ・ 3年目専門研修開始と同時の大学院 (社会人) 入学も可
- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

6 脳神経外科 キャリア形成プログラム (富山大学) 脳神経外科専門医取得

県内就労義務期間												
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~
研修	初期研修		① 専門研修 (脳神経外科)				② 今後自分が専門とする臨床研修や研究を総合的に行う期間			大学病院スタッフ 中核病院スタッフ		
			目標 ・ 脳神経外科領域の診断および管理 ・ 脳神経外科救急の初期治療 ・ 脳神経外科基本手技 ができるようになる 主な研修コース (富山大学) 富山大学専攻医研修プログラム 				サブスペシャリティの取得例 脳卒中の外科技術認定医 (富山大学) 脳卒中専門医 (富大・黒部市民・済生会富山・富山赤十字、市立砺波総合) 脳血管内治療専門医 (富山大学・済生会富山・富山赤十字) 小児神経学会認定医 (富山大学) 神経内視鏡技術認定医 (富山大学)			様々なキャリア形成が可能		
							③ 研究 (大学院入学：4年間) 原則二年間は病棟フリー 医学博士取得 海外留学					

① 3～7年目は富山大学附属病院の脳神経外科専門研修プログラムに入り、下記の連携施設群で専門研修
 富山大学附属病院、黒部市民病院、済生会富山病院、富山赤十字病院、厚生連高岡病院、市立砺波総合病院

② 8年目以降は、富山大学や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、脳卒中専門医、脳卒中の外科技術認定医、脳血管内治療専門医、小児神経学会認定医、神経内視鏡技術認定医の取得が可能。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能 (医師のキャリア形成には研究も重要)
 ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期

7 総合診療科 キャリア形成プログラム（富山大学）

指導医資格取得

総合診療専門医取得

家庭医療専門医取得

県内就労義務期間													
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	
研修	初期研修	①専門研修 (総合診療専門医)				②サブスペシャル研修 (家庭医療専門医)		③大学院コース ・臨床疫学					医学博士 取得
研修内容		内科	総合診療・家庭医療Ⅱ (病院総合診療)	総合診療・家庭医療Ⅰ (診療所・中小病院)	小児・救急	家庭医療専門研修Ⅰ (診療所・中小病院)							
主な研修先	大学 総診 (選択)	・かみいち総合病院 ・厚生連高岡病院	・かみいち総合病院 ・南砺市民病院	・かみいち総合病院 ・高岡ふしき病院 ・南砺家庭・地域医療 センター	・厚生連高岡病院 ・富山大学附属病院 ・砺波総合病院	・かみいち総合病院 ・高岡ふしき病院 ・南砺家庭・地域医療 センター	地域医療スタッフ 研修先のほかに ・あさひ総合病院 ・飛騨市民病院 ・まちなか診療所 ・ものがたり診療所 など 大学病院スタッフ 臨床・教育・研究 開業・留学など 様々なキャリア形成が可能						

- ①「とやま総合診療専攻研修プログラム」は②「とやま家庭医療専門研修プログラム」と連結しており、最短卒後7年目で両資格が取得できます
- 総合専門医取得後は、在宅医療専門医（ものがたり在宅医療フェローシップ）の取得も可能です
- 研修中はプログラム専攻医と専門医による定期的な勉強会（とむじぇり）で資格取得、更新をサポートします
- 総合診療専門医取得後に内科領域を研修される際は、内科サブスペ領域との連動研修を行うことが可能です
- ③大学院に入学して博士号の取得も可能

感染症内科 キャリア形成プログラム（富山大学）

		県内就労義務											
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	
研修	初期研修		①基本領域研修（内科）			②感染症専門研修		③主に感染症指定医療機関に勤務					
	富山大学附属病院または富山県内の初期研修プログラム		内科研修モデルコース			富山大学附属病院（富山県立中央病院, 厚生連高岡病院）感染症科にて2年間研修		富山県の感染症医療の充実のため感染症指定医療機関等での勤務を推奨 <ul style="list-style-type: none"> 富山大学附属病院 富山県立中央病院 厚生連高岡病院 富山市民病院 高岡市民病院 黒部市民病院 砺波総合病院 内科を基本領域とする2つ目のサブスペシャリティ等研修も可能 ※取得可能な資格 インфекションコントロール・クター 抗菌化学療法認定医・指導医 結核・抗酸菌症認定医・指導医 医真菌専門医 など				様々なキャリア形成が可能 感染症指定医療機関 その他の市中病院 大学病院 国内・海外留学 など	
			大学病院	連携施設	大学病院								
			連携施設	大学病院	大学病院								
			連携施設	連携施設	大学病院								
			感染症内科を標榜している施設を推奨 ※連携施設 <ul style="list-style-type: none"> 富山県立中央病院 厚生連高岡病院 富山市民病院 高岡市民病院 黒部市民病院 など ※特別連携施設 <ul style="list-style-type: none"> あさひ総合病院 										
			④ 研究（大学院入学：4年間）			医学博士取得							

①3～5年目は、富山大学附属病院 感染症科にて、内科専門研修プログラムに入り、内科専門医を取得する。

・富山県内連携施設(21施設)及び富山県内特別連携施設(3施設)。県外連携施設(15施設)での研修は可能だが、その期間は返還免除時期が延期

②6～7年目は、富山大学附属病院(富山県立中央病院, 厚生連高岡病院)感染症科にて、感染症専門研修を行い、感染症専門医を取得する。

③8～11年目は、富山県内の感染症指定医療機関等に勤務する。

・感染症専門医取得後に内科を基本領域とする2つ目のサブスペシャリティ等研修も可能（感染症内科としての勤務形態であれば義務年限にカウント可能）

④大学院に入学し博士号の取得を推奨する。（医師のキャリア形成には研究も重要）

・大学院入学後も診療業務している年限は義務年限にカウント可能

※プログラム期間を通して産休・育休、子育て支援あり

県内病院のキャリア形成プログラム（例）

【注意事項】各診療科共通

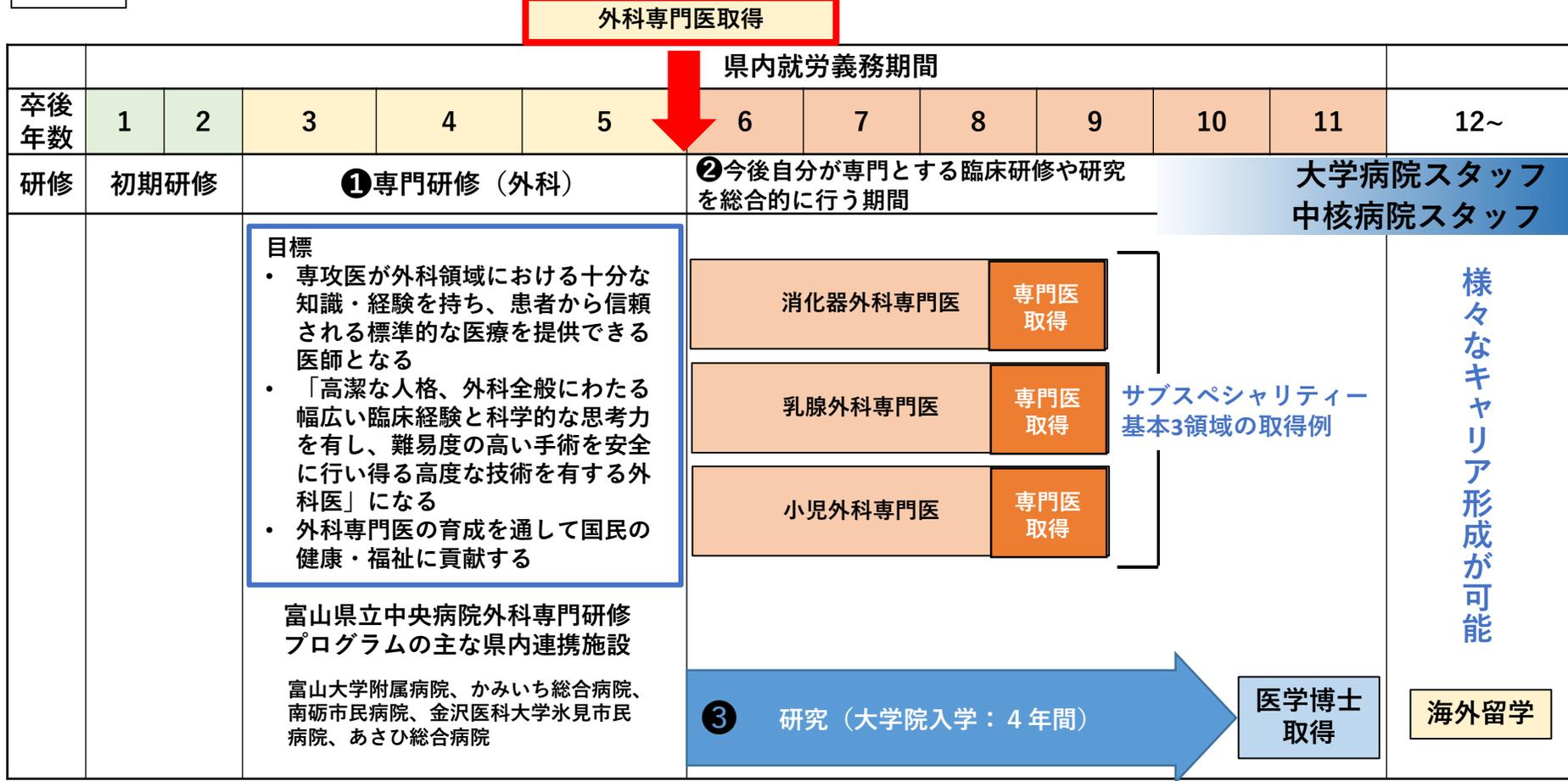
- ・ 県外施設での診療や研修期間は義務年限に算入されません。
- ・ 大学院に入学の場合、診療従事状況により義務年限に算入するかどうかを決定します。

		県内就労義務期間																																	
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～																							
研修	初期研修	① 小児科専攻医研修					② 将来の目標に向かった臨床研修や研究を総合的に行う																												
		<p>到達目標：「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">富山県立中央病院プログラム（主なコース）</th> </tr> <tr> <td>富山県立中央病院</td> <td>関連病院A</td> <td colspan="2">関連病院B</td> </tr> <tr> <td>関連病院A</td> <td>富山県立中央病院</td> <td colspan="2">関連病院B</td> </tr> <tr> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> <td colspan="2">富山県立中央病院</td> </tr> <tr> <td>富山県立中央病院</td> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> <td>連携病院</td> </tr> </table>					富山県立中央病院プログラム（主なコース）				富山県立中央病院	関連病院A	関連病院B		関連病院A	富山県立中央病院	関連病院B		関連病院A	関連病院B	富山県立中央病院		富山県立中央病院	関連病院A	関連病院B	連携病院	<p>総合的な研修</p> <p>サブスペシャリティ研修</p>						<p>大学病院 中核病院 スタッフへ</p>		
富山県立中央病院プログラム（主なコース）																																			
富山県立中央病院	関連病院A	関連病院B																																	
関連病院A	富山県立中央病院	関連病院B																																	
関連病院A	関連病院B	富山県立中央病院																																	
富山県立中央病院	関連病院A	関連病院B	連携病院																																
							<p>アレルギー専門医（小児科） 小児血液・がん専門医 小児循環器専門医 小児神経専門医 周産期専門医（小児科）など (それぞれ3～5年間)</p>						<p>各分野専門医</p> <p>さまざまなキャリア形成が可能</p>																						
							<p>③ 研究（大学院：4年間）</p>						<p>医学博士取得</p> <p>海外留学</p>																						

- ① 3～5年目：富山県立中央病院の小児科専攻医研修医プログラムに入り、県内の病院群で研修
- ② 6～9年目：附属病院や関連施設でサブスペシャリティの研修ならびに取得が可能
- ③ 大学院に入学して博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には重要）

関連病院（A）：富山大学附属病院
 関連病院（B）：富山市民病院、黒部市民病院など
 連携病院：富山県リハビリテーション病院など（希望により）

< 返還免除時期の延長 >
 研究が主体の期間、県外や国外での研修期間、など



様々なキャリア形成が可能

- ① 3～5年目は富山県立中央病院の外科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修**
 連携施設は富山大学附属病院、かみいち総合病院、南砺市民病院、金沢医科大学氷見市民病院、あさひ総合病院。
 連携施設で最低6カ月以上の研修を行う。
- ② 6～9年目までの期間は、富山県立中央病院や関連施設でサブスペシャリティー専門研修**
 消化器外科専門医、乳腺外科専門医、小児外科専門医の取得が可能。内視鏡外科技術認定医、肝胆膵外科高度技能専門医、
 食道外科専門医等の高度なキャリア形成を目指した研修も可能。
- ③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）**
 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

（県外施設での期間は返還免除時期が延期）

産科婦人科専門医取得

		県内就労義務期間												
卒後年数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	
研修	初期研修	① 専門研修（産婦人科）					② 今後自分が専門とする臨床研修や研究を総合的に行う期間					大学病院スタッフ 中核病院スタッフ		
	民間病院・診療所等 なかしま産婦人科 小嶋ウイメンズクリニックと連携	目標 ・ 妊娠分娩管理、新生児管理 ・ 良悪性腫瘍の診療 ・ 生殖医療 ができるようになる 主な研修コース 富山県立中央病院プログラム（例）					周産期専門医		専門医取得	サブスペシャリティー 基本4領域の最短取得例		様々なキャリア形成が可能		
							婦人科腫瘍専門医		専門医取得					
							女性医学専門医		専門医取得					
							生殖医療専門医		専門医取得					
		富山県中		富山県中		関連病院A	内視鏡技術認定医		認定医取得					
		関連病院B	富山県中		関連病院C		③ 研究（大学院入学：4年間）							医学博士取得
		関連病院A	関連病院B	富山県中										海外留学
	富山県中	関連病院A	関連病院B	関連病院D										

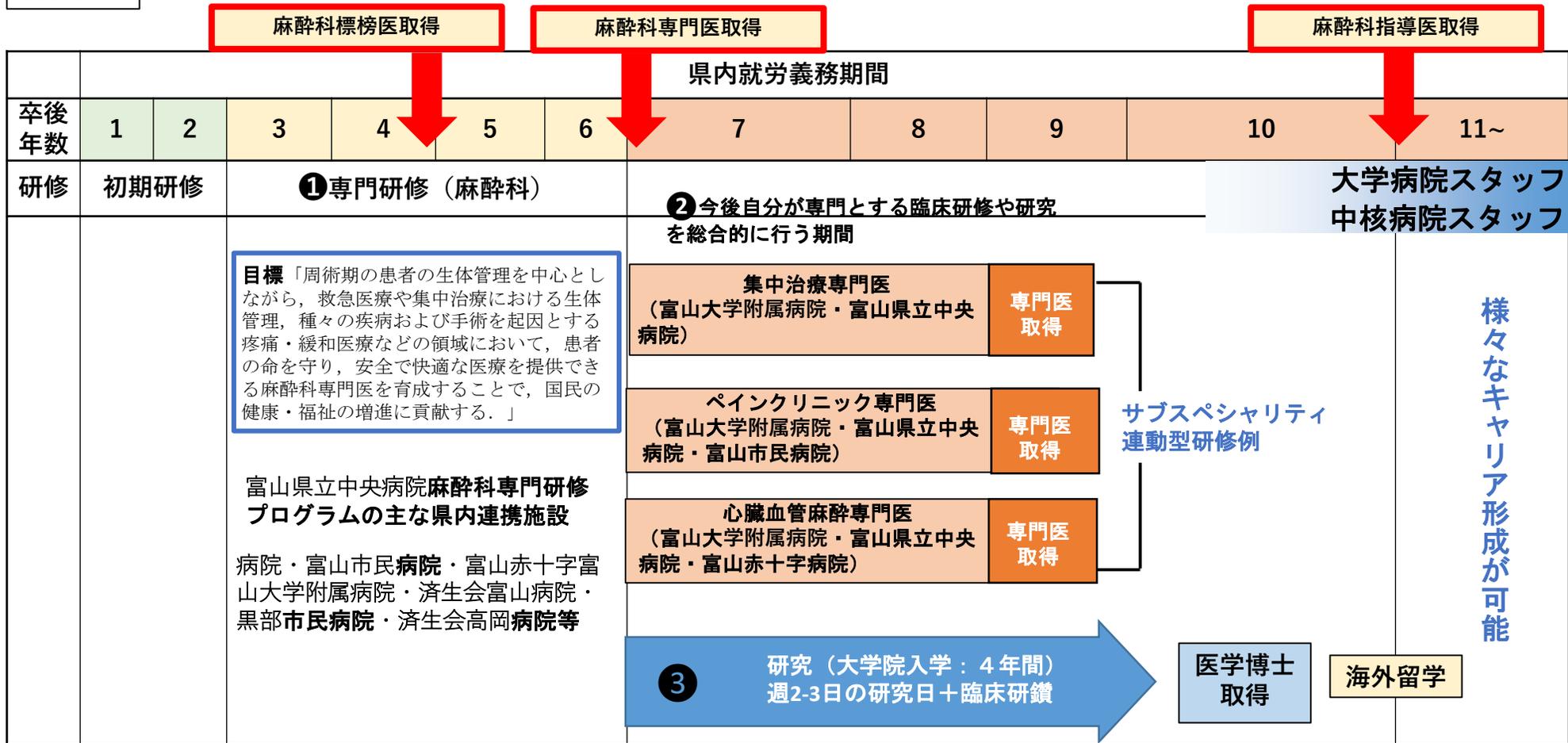
① 3～5年目は富山県立中央病院の産婦人科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

高岡市民病院、厚生連高岡病院、済生会高岡病院、市立砺波総合病院 富山市民病院、富山赤十字病院、かみいち総合病院、黒部市民病院、富山大学附属病院

② 6～9年目までの期間は、各自が希望する医療機関でサブスペシャリティー専門研修をして、周産期専門医、婦人科腫瘍専門医、内視鏡技術認定医、女性医学専門医、生殖医療専門医の取得が可能。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。



① 3～6年目は富山県立中央病院の麻酔科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修。

富山大学附属病院、富山市民病院、富山赤十字病院、済生会富山病院、黒部市民病院、済生会高岡病院等

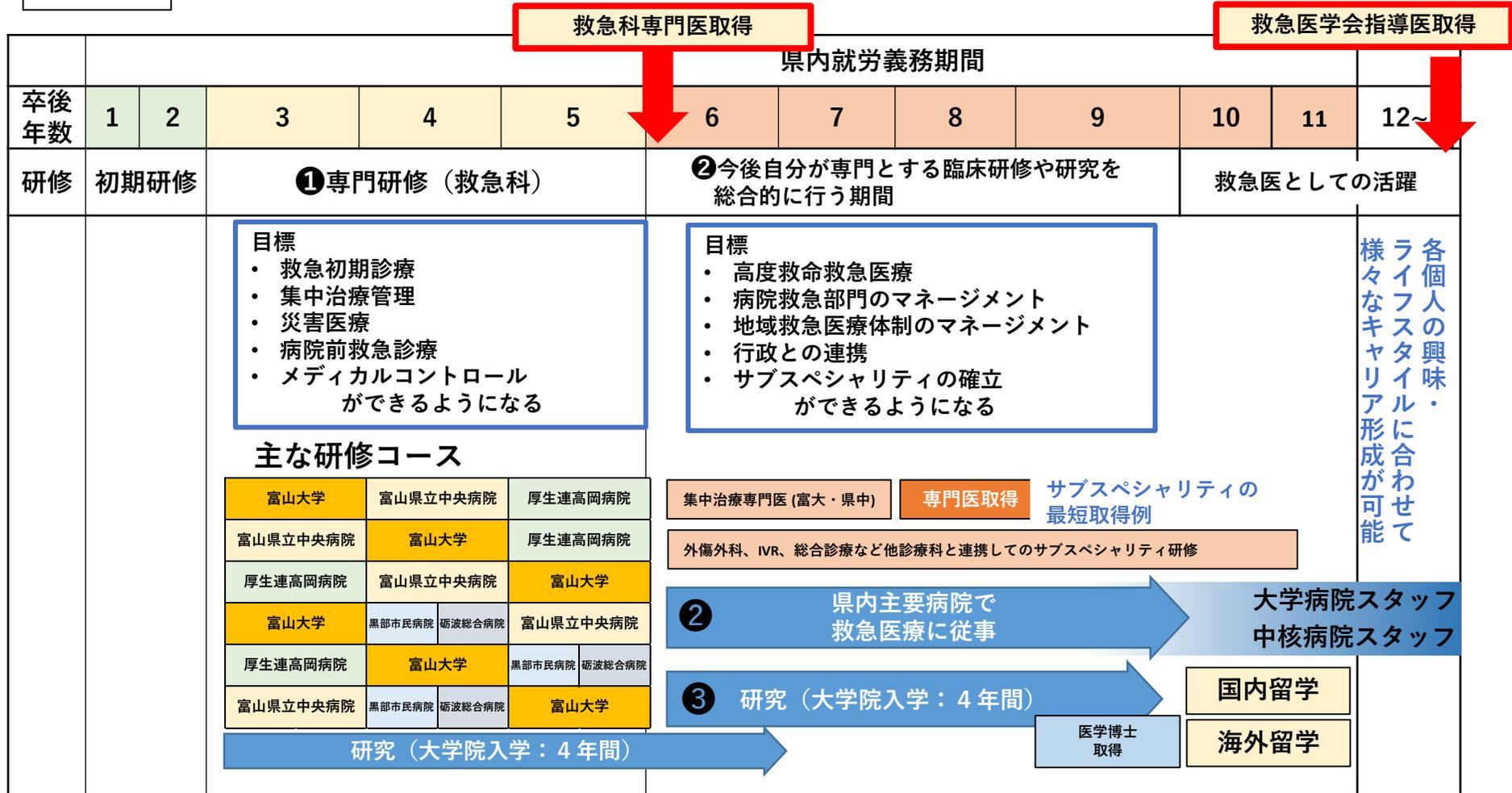
② 7～10年目までの期間は、富山県立中央病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修が可能。麻酔科指導医を取得。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）。

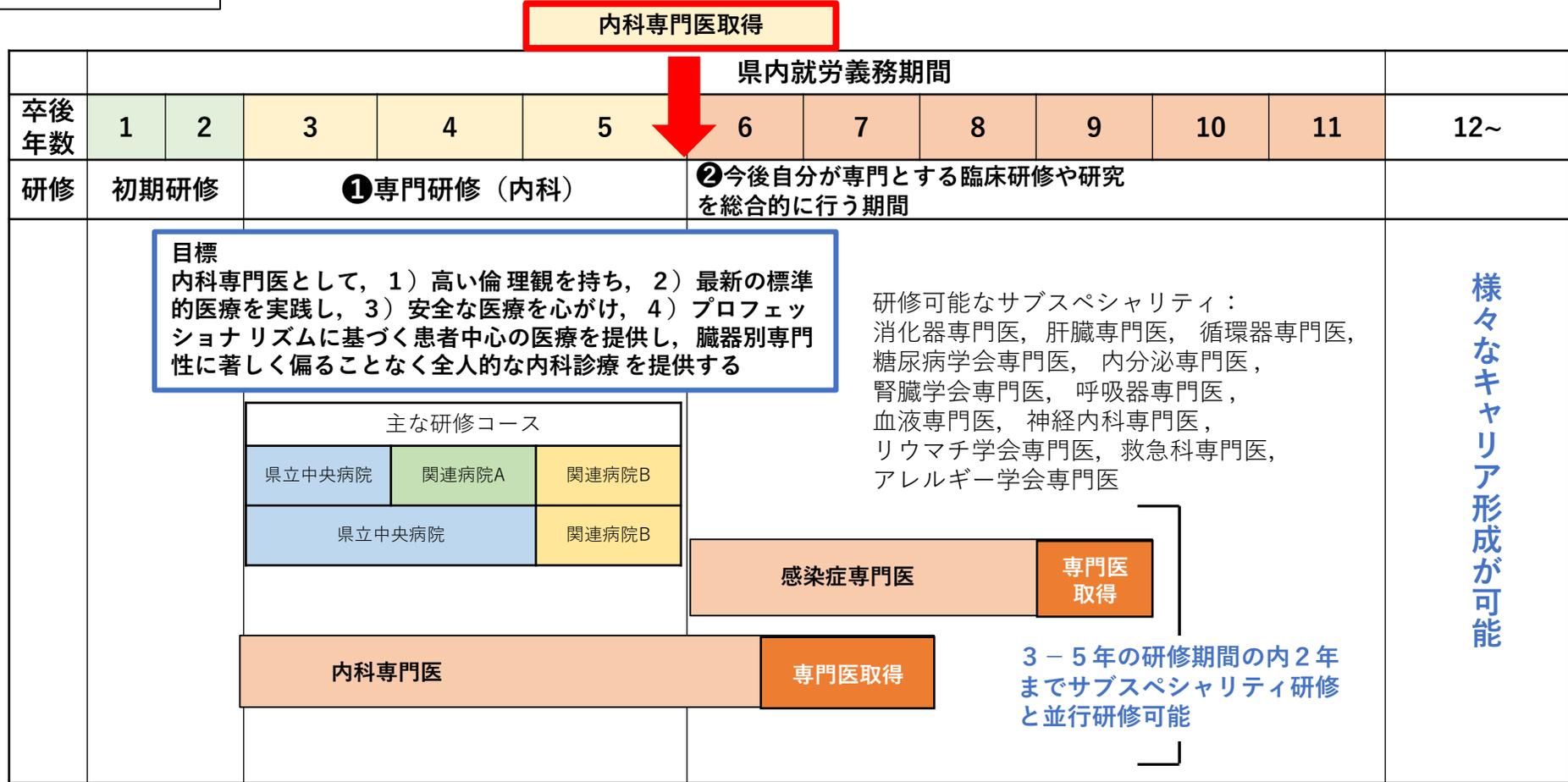
- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期。
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

1 3 救急科

キャリア形成プログラム（富山県立中央病院）



- ① 3～5年目は富山県立中央病院救急科専門医養成プログラムに入り、県内の病院群で研修
- ② 6～9年目までの期間は、富山県立中央病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、集中治療専門医の取得が可能。希望により県内・外の施設で他領域の研修も可能だが、その期間は返還免除時期が延期。
- ③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）
 - ・ 3年目専門研修開始と同時の大学院（社会人）入学も可
 - ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
 - ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。



① 3～5年目は病院の内科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

連携施設は黒部市民病院、市立富山市民病院、厚生連高岡病院、市立砺波総合病院、高岡市民病院、厚生連滑川病院、上市総合病院、富山大学附属病院。連携施設で最低1年以上の研修を行う。

② 感染症専門医取得後、当病院でもサブスペシャリティ研修可能

当院は内科系のほぼ全てのサブスペシャリティの研修が可能です。（県外施設での期間は返還免除時期が延期されます）

1 5 感染症内科 キャリア形成プログラム（厚生連高岡病院）

卒後 年数	県内就労義務		内科専門医取得			感染症専門医取得										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12～				
研修	初期研修		①基本領域研修（内科）			②感染症専門研修		③感染症内科専門医として勤務								
			例：厚生連高岡病院内科専修医コース <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td colspan="2">厚生連高岡病院</td></tr> <tr><td>厚生連高岡病院</td><td>関連施設*</td></tr> <tr><td>関連施設*</td><td>厚生連高岡病院</td></tr> </table> ※関連病院(選択) 富山大学附属病院、金沢大学附属病院 佐久医療センター、南砺市民病院 JCHO高岡ふしき病院 金沢医科大学氷見市民病院 厚生連滑川病院など			厚生連高岡病院		厚生連高岡病院	関連施設*	関連施設*	厚生連高岡病院	② 厚生連高岡病院 感染症内科専門医プログラム 富山県西部の500床規模の3次救急病院、特定病院群の病院です。 米国感染症内科専門医の指導のもと豊富な症例を経験することが可能です。 他科からのコンサルテーションだけでなく、主治医としての業務もあります。 1人で判断することなく、指導医クラスに必ず相談できる環境です。 感染管理、抗菌薬適正使用に関連した業務も研修に含まれ、 インфекション・コントロールドクターの資格も併せて取得可能です。 必要に応じまして、連携施設での研修を適宜行います。 （富山大学附属病院、富山県立中央病院など）				
厚生連高岡病院																
厚生連高岡病院	関連施設*															
関連施設*	厚生連高岡病院															

①3～5年目は内科専門研修プログラムに入り、内科専門医を取得します。

厚生連高岡病院内科専修医プログラムでは、将来専攻するサブスペシャリティに関わらず内科医としての土台をしっかりと築くことを目標としています。常に患者の全体像を意識しながら、各専門医とも同じ目線で議論ができ、総合的な治療ゴールを設定し医療を行うことができる内科医の育成を目指します。

②6～7年目は厚生連高岡病院 感染症内科にて感染症専門研修を行い、感染症専門医を取得します。

③8～11年目は、富山県内の医療機関に勤務します。（県外施設での期間は返還免除時期が延期されます）



県内就労義務期間														
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~		
研修	初期研修		①専門研修 (総合診療専門医)					②サブスペシャル研修 (家庭医療専門医)		③大学院コース ・臨床疫学			医学博士 取得	
研修内容			総合診療Ⅱ 6か月	内科 6か月	総合診療Ⅰ 6か月	救急 3か月 小児科 3か月	内科 6か月	総合診療Ⅰ 6か月 (総合Ⅱ)	家庭医療専門研修Ⅰ (診療所・中小病院)					
主な研修先	富山県 (基幹型臨床研修病院 選択)		かみいち 総合病院	かみいち 総合病院 氷見市民 病院 黒部市民 病院	やまだ ホームケ アクリ ニック 利賀診療 所 上平診療 所 平診療所	富山 県立中 央病院	か み い ち 総 合 病 院	かみいち 総合病院 氷見市民 病院 黒部市民 病院	やまだ ホームケ アクリ ニック 利賀診療 所 上平診療 所 平診療所 (かみい ち総合病 院)	かみいち総合病院		地域医療スタッフ 研修先のほかに ・まちなか診療所 など 大学病院スタッフ 臨床・教育・研究 開業・留学など 様々なキャリア形成が可能		

- ①「かみいち総合診療専攻研修プログラム」は②「かみいち家庭医療専門研修プログラム」と連結しており、最短卒後7年目で両資格が取得できます
- 総合専門医取得後は、在宅医療専門医の取得も可能です
- 研修中はプログラム専攻医と専門医による定期的な勉強会で資格取得、更新をサポートします
- 総合診療専門医取得後に内科領域を研修される際は、内科サブスペ領域との連動研修を行うことが可能です
- ③大学院に入学して博士号の取得も可能

17 総合診療科 キャリア形成プログラム（金沢医科大学氷見市民病院）

総合診療専門医取得

県内就労義務期間													
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~	
研修	初期研修		①専門研修 (総合診療専門医)					②今後自分が専門とする臨床研修や研究を総合的に行う期間					
研修内容			総合診療専門研修Ⅱ	総合診療専門研修Ⅰ	内科 選択診療科（整形・皮膚・泌尿器・耳鼻咽喉・放射線・眼・一般消化器等）			総合診療に従事					
主な研修先			・金沢医科大学氷見市民病院	・かみいち総合病院	金沢医科大学氷見市民病院			大学院コース ・地域医療学					
				・金沢医科大学氷見市民病院 ・市立砺波総合病院				医学博士取得					

② 大学院に入学して博士号の取得も可能

18 総合診療科 キャリア形成プログラム（南砺市民病院）

指導医資格取得

総合診療専門医取得

家庭医療専門医取得

県内就労義務期間												
卒後 年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~
研修	初期研修		①専門研修 (総合診療専門医)			②サブスペシャル研修 (診療所・中小病院)		①南砺市民病院での勤務継続 臨床・教育・研究				
研修 内容			・内科	・総合診療・家庭医療Ⅰ (病院総合診療)	・総合診療・家庭医療Ⅰ (診療所・中小病院) ・小児 ・救急	・家庭医療専門研修Ⅰ (診療所・中小病院)						
主な 研修 先	〇〇 病院 総診 (選択)		・南砺市民病院	・南砺市民病院 (総合診療専門研修Ⅱ) (家庭医療専門研修Ⅱ)	・南砺家庭地域医療センター (総合診療専門研修Ⅰ) (家庭医療専門研修Ⅰ) ・市立砺波総合病院 (救急科・小児科) ・洛和会丸太町病院 (救急科) ・板橋中央総合病院 (救急科)	・南砺市民病院 ・南砺家庭地域医療センター (家庭医療専門研修Ⅰ)		<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> さまざまなキャリア形成が可能 </div> ②他病院へ 臨床・教育・研究などの様々な 分野でサポート！				

- ・ ①「南砺市民病院総合診療専門研修プログラム」は②「南砺市民病院家庭医療専門研修プログラム」と連結しており、最短卒後7年目で両資格が取得できます。
- ・ 研修中はプログラム専攻医と専門医による定期的な勉強会で資格取得、更新をサポートします。

金沢大学附属病院のキャリア形成プログラム（例）

【注意事項】各診療科共通

- ・ 県外施設での診療や研修期間は義務年限に算入されません。従って、金沢大学附属病院での勤務期間は義務年限に算入されません。
- ・ 大学院に入学の場合、診療従事状況により義務年限に算入するかどうかを決定します。

県内就労義務期間																									
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12、13、14・・・													
研修	初期研修		① 小児科専攻医研修			② 将来の目標に向かった臨床研修や研究を総合的に行う																			
			<p>到達目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの総合診療 育児・健康支援 子どもアドボカシー 医のプロフェッショナルリズム 学識研究 <p>に対応できるスキルを身につける</p>			<ul style="list-style-type: none"> 総合的な研修 サブスペシャリティ研修 <p>大学病院 中核病院 スタッフへ</p>																			
			<p>金大病院プログラム（主なコース）</p> <table border="1"> <tr> <td>金大病院</td> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> </tr> <tr> <td>関連病院A</td> <td>金大病院</td> <td>関連病院B</td> </tr> <tr> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> <td>金大病院</td> </tr> <tr> <td>金大病院</td> <td>関連病院A</td> <td>関連病院B</td> <td>連携病院</td> </tr> </table>			金大病院	関連病院A	関連病院B	関連病院A	金大病院	関連病院B	関連病院A	関連病院B	金大病院	金大病院	関連病院A	関連病院B	連携病院	<p>小児科専門医</p> <p>アレルギー専門医（小児科） 小児血液・がん専門医 小児循環器専門医 小児神経専門医 周産期専門医（新生児） 内分泌代謝科（小児科）専門医 腎臓専門医 リウマチ専門医 など （それぞれ3～5年間）</p> <p>各分野専門医</p> <p>様々なキャリア形成が可能</p>						
金大病院	関連病院A	関連病院B																							
関連病院A	金大病院	関連病院B																							
関連病院A	関連病院B	金大病院																							
金大病院	関連病院A	関連病院B	連携病院																						
						③ 研究（大学院：4年間）				医学博士取得		国内留学 海外留学													

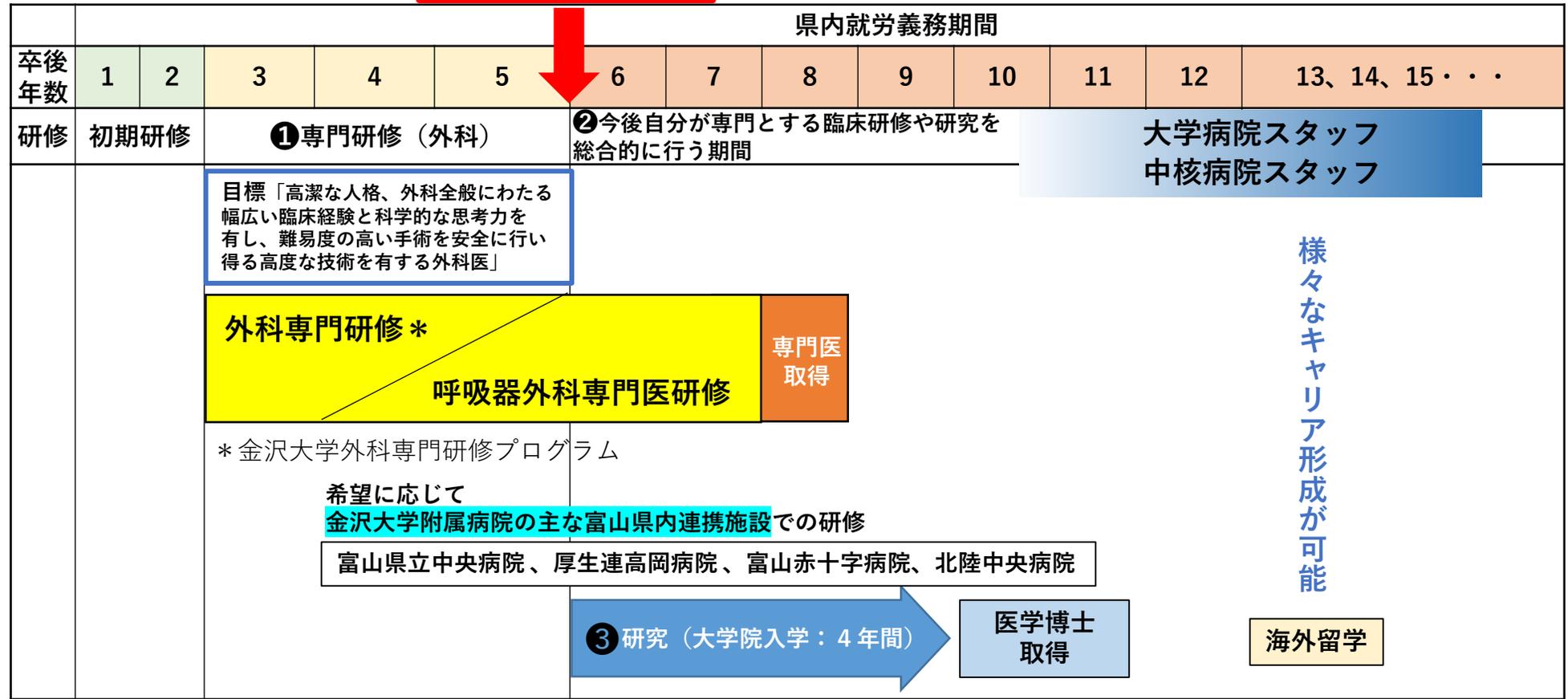
- ① 3～5年目：金沢大学附属病院小児科専門研修プログラムに入り、富山県内の病院群で研修
- ② 6～9年目：附属病院や関連施設でサブスペシャリティの研修ならびに取得が可能
- ③ 大学院に入学して博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には重要）

関連病院（A）：富山県立中央病院
 関連病院（B）：市立砺波総合病院
 連携病院：富山病院、南砺市民病院など（希望により）

< 返還免除時期の延長 >
 研究が主体の期間、県外や国外での研修期間、など

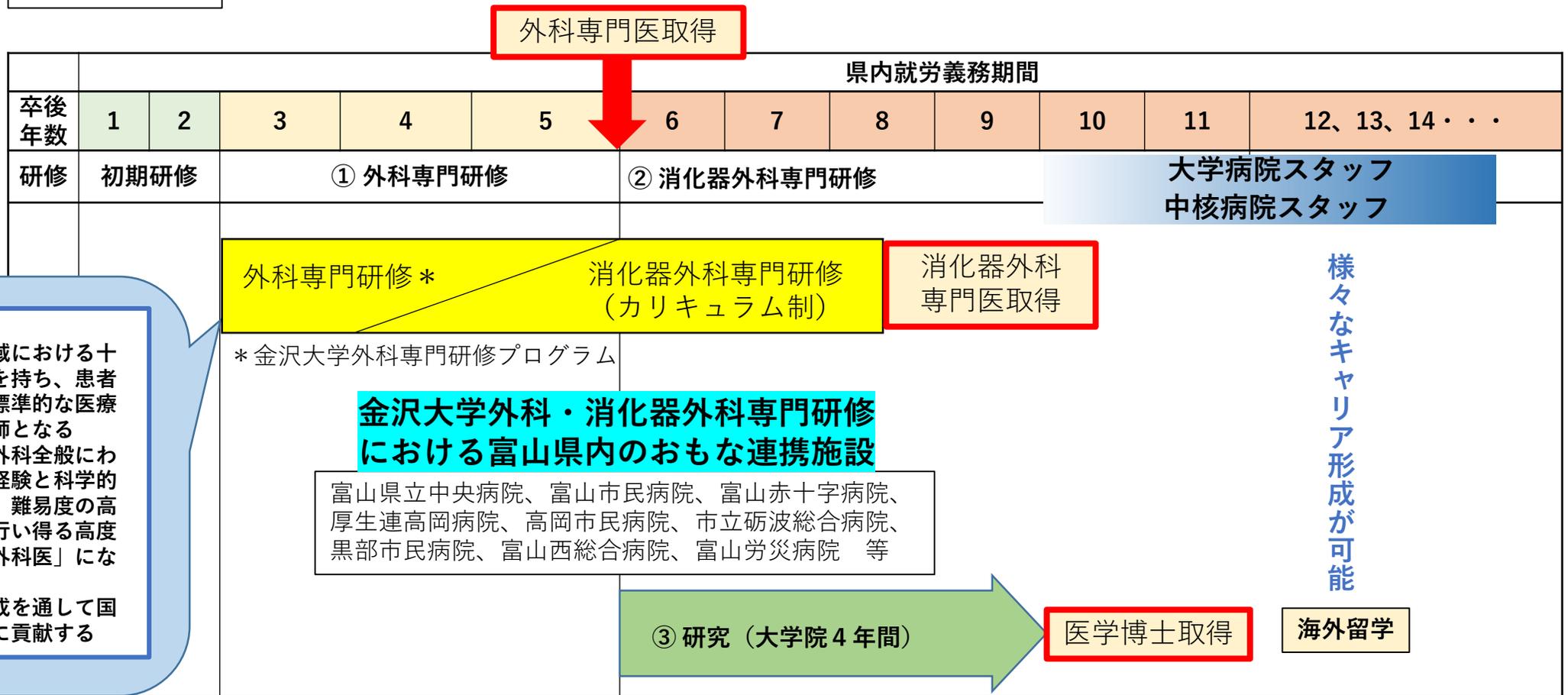
20 呼吸器外科 キャリア形成プログラム (金沢大学)

外科専門医取得



- ① 3～5年目は金沢大学外科専門研修プログラムにて、3年目は金沢大学病院、4-5年目以降は富山県内の病院群で研修。
富山県立中央病院、厚生連高岡病院、富山赤十字病院、北陸中央病院
- ② 6～8年目までの期間は、金沢大学附属病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、呼吸器外科専門医の取得が可能。
県外施設での期間は返還免除時期が延期。
- ③ 大学院に入学し博士号の取得も可能 (医師のキャリア形成には研究も重要)。
・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期。
・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

2 1 2 消化器外科 キャリア形成プログラム（金沢大学）



① 3～5年目は金沢大学外科専門研修プログラムにて、3年目は金沢大学病院、4,5年目以降は富山県内の病院群で研修

富山県内の主な連携施設は、富山県立中央病院、富山市民病院、富山赤十字病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院、黒部市民病院、富山西総合病院、富山労災病院 など

② 6年目以降は、金沢大学附属病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修

8～10年目での消化器外科専門医の取得を目指す。

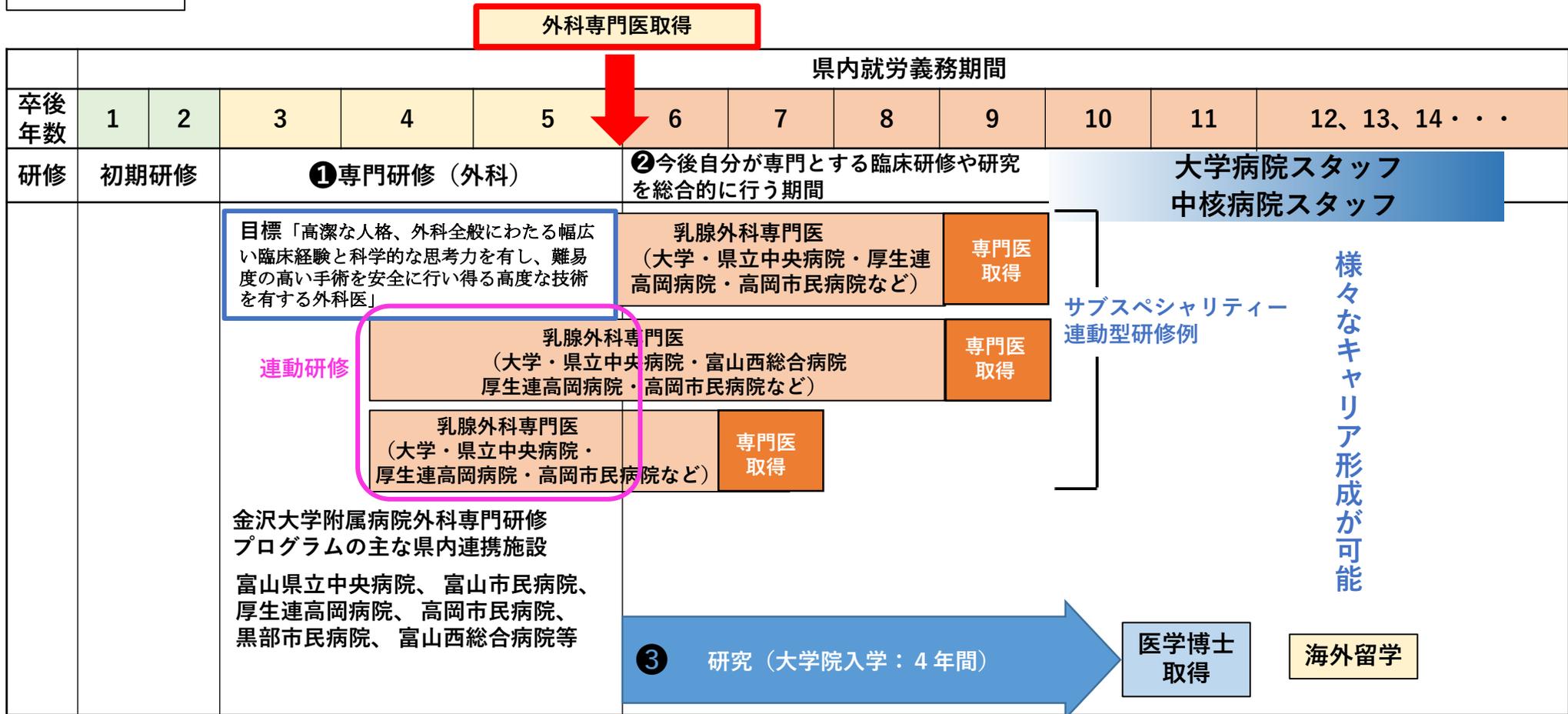
消化器外科専門医取得後は、内視鏡外科技術認定医、肝胆膵外科高度技能専門医、食道外科専門医等の高度なキャリア形成を目指した研修も可能。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

（県外施設での期間は返還免除時期が延期）

2 2 乳腺外科 キャリア形成プログラム（金沢大学）



① 3～5年目は金沢大学附属病院の外科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

富山県立中央病院、富山市民病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院、黒部市民病院、富山西総合病院

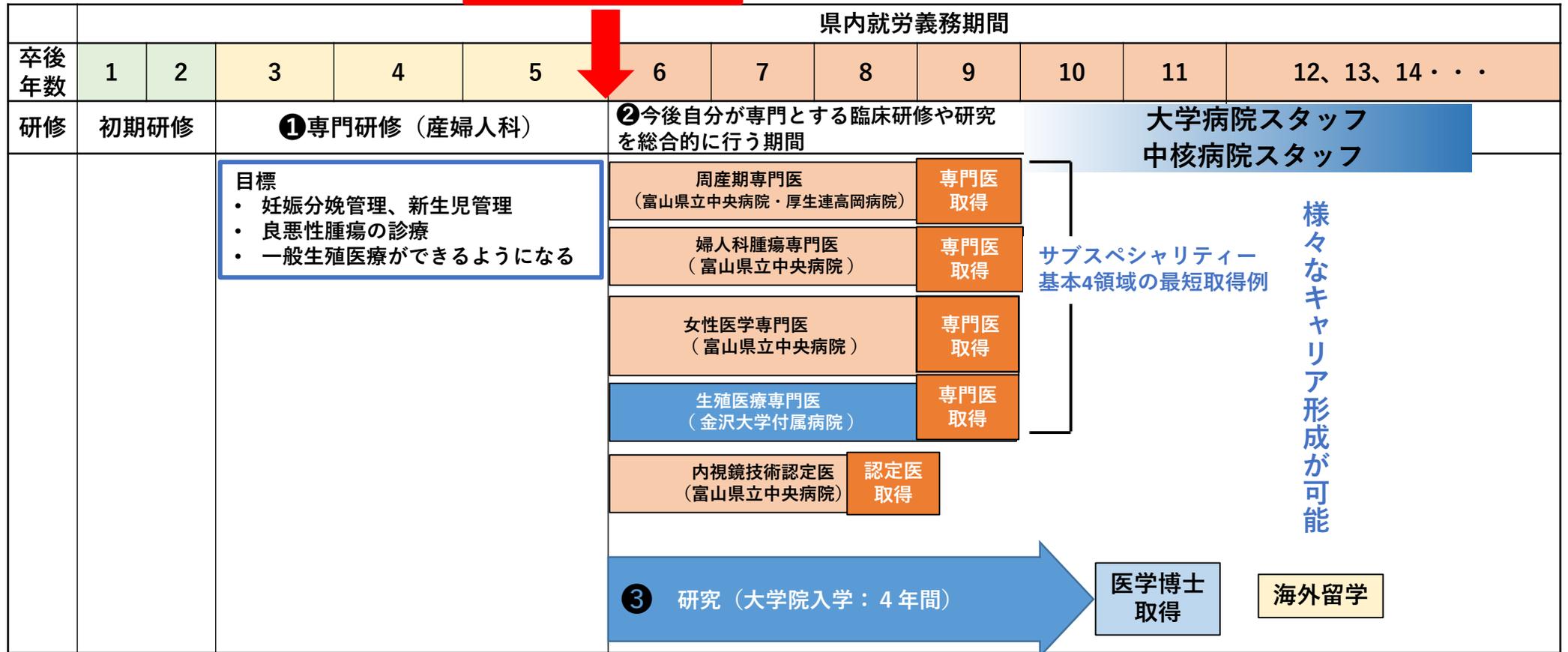
② 6～9年目までの期間は、金沢大学附属病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、乳腺外科専門医の取得が可能。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

23 産婦人科 キャリア形成プログラム（金沢大学）

産科婦人科専門医取得



① 3～5年目は金沢大学付属病院の産婦人科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

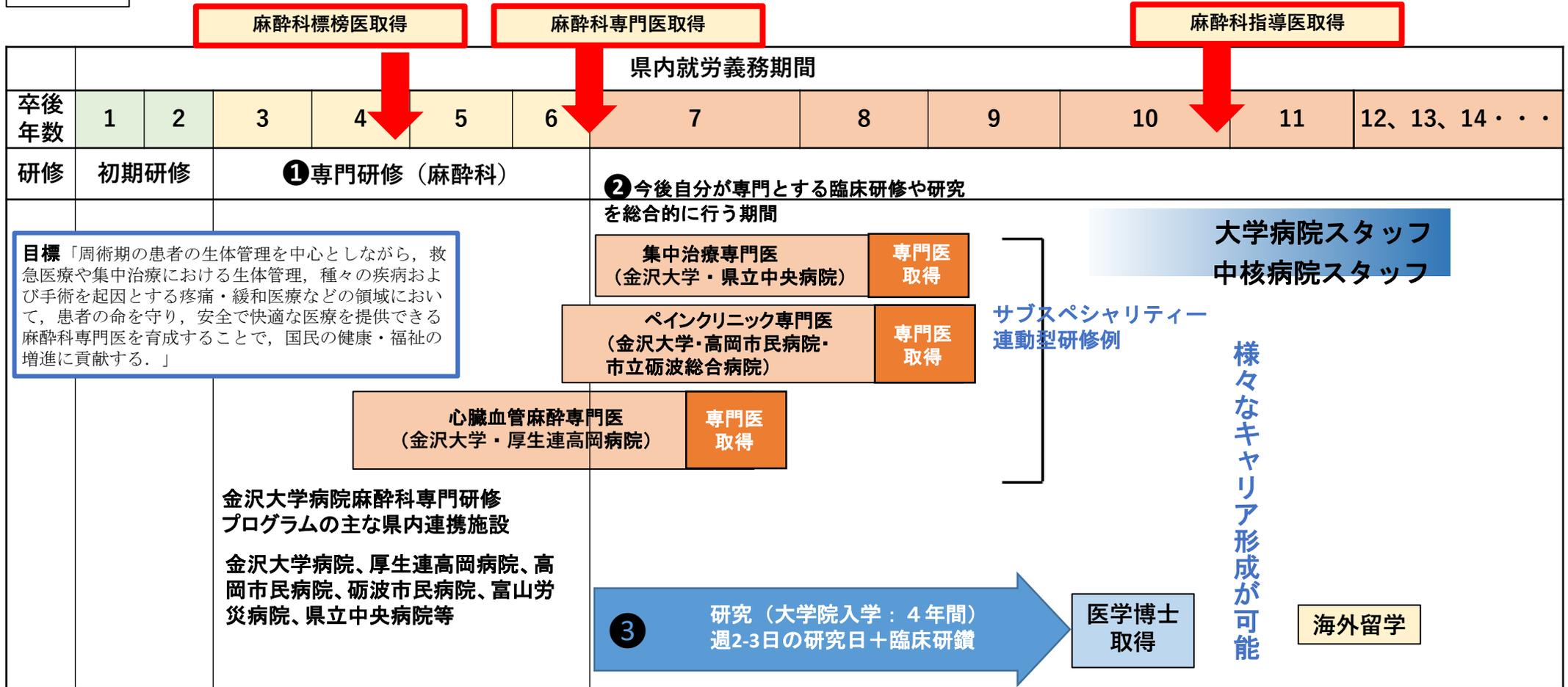
富山県立中央病院、済生会高岡病院、富山市民病院、厚生連高岡病院

② 6～9年目までの期間は、富山県立中央病院や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、周産期専門医、婦人科腫瘍専門医、内視鏡技術認定医、女性医学専門医の取得が可能。県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

キャリア形成プログラム（金沢大学）



① 3～6年目は金沢大学病院の麻酔科専門研修プログラムに入り、県内の病院群で研修

厚生連高岡病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院、富山労災病院、県立中央病院

② 7～10年目までの期間は、金沢大学附属病院や関連施設でサブスペシャリティー専門研修をして、麻酔科指導医の取得が可能。
県外施設での期間は返還免除時期が延期。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能（医師のキャリア形成には研究も重要）

- ・ 大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期
- ・ 研究のための国内留学も可能、県外施設での期間は返還免除時期が延期。海外留学は主に医学博士取得後。

県内就労義務期間																																	
卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12、13、14・・・																					
研修	初期研修		① 専門研修 (脳神経外科)				② 今後自分が専門とする臨床研修や研究を総合的に行う期間			大学病院スタッフ 中核病院スタッフ																							
			<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳神経外科領域の診断および管理 脳神経外科救急の初期治療 脳神経外科基本手技を修得する <p>主な研修コース (金沢大学)</p> <p>金沢大学専攻医研修プログラム</p> <table border="1"> <tr> <td>金沢大学</td> <td>連携施設①</td> <td>連携施設②</td> <td>金沢大学</td> <td>連携施設③</td> <td>連携施設④</td> <td>金沢大学</td> </tr> <tr> <td>金沢大学</td> <td colspan="2">連携施設①</td> <td>金沢大学</td> <td>連携施設②</td> <td>連携施設③</td> <td>金沢大学</td> </tr> <tr> <td>金沢大学</td> <td>連携施設①</td> <td>金沢大学</td> <td>連携施設②</td> <td>連携施設③</td> <td colspan="2">金沢大学</td> </tr> </table>				金沢大学	連携施設①	連携施設②	金沢大学	連携施設③	連携施設④	金沢大学	金沢大学	連携施設①		金沢大学	連携施設②	連携施設③	金沢大学	金沢大学	連携施設①	金沢大学	連携施設②	連携施設③	金沢大学		<p>サブスペシャリティの取得例</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳卒中専門医 (金沢大学・富山市民病院・富山労災病院・厚生連高岡病院) がん治療認定医 (金沢大学) 脳血管内治療専門医 (金沢大学・富山市民病院・厚生連高岡病院) 脳卒中の外科技術認定医 (金沢大学、富山市民病院、厚生連高岡病院) 神経内視鏡技術認定医 (金沢大学) 			<p>③ 研究 (大学院入学：4年間) 原則2年間は病棟フリー</p> <p>医学博士取得</p> <p>海外留学</p>		
金沢大学	連携施設①	連携施設②	金沢大学	連携施設③	連携施設④	金沢大学																											
金沢大学	連携施設①		金沢大学	連携施設②	連携施設③	金沢大学																											
金沢大学	連携施設①	金沢大学	連携施設②	連携施設③	金沢大学																												

様々なキャリア形成が可能

① 3～7年目は金沢大学附属病院の脳神経外科専門研修プログラムに入り、下記の連携施設群で専門研修
 金沢大学附属病院、富山市民病院、富山労災病院、厚生連高岡病院
 県外施設での期間は返還免除時期が延期

② 8年目以降は、金沢大学や関連施設でサブスペシャリティ専門研修をして、脳卒中専門医、がん治療認定医、脳卒中の外科技術認定医、脳血管内治療専門医、小児神経学会認定医、神経内視鏡技術認定医、てんかん専門医、頭痛専門医、認知症専門医の取得が可能。

③ 大学院に入学し博士号の取得も可能 (医師のキャリア形成には研究も重要)
 ・大学院入学後、診療業務している年限は義務年限にカウント可能だが、研究が主の期間は返還免除時期が延期